



「富士山百景」初秋富士

VOL. 2590

Rotary International

「善意を育み、奉仕の実践を」

第2590回例会 2017.9.27

ソング「四つのテスト」



富士ロータリークラブ **WEEKLY**

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:滝 克 芳
 副会長:植 田 眞 晴
 幹 事:石 井 誠
 副幹事:佐 藤 昌 久

会長挨拶

滝 克 芳



富士クラブには内部規定や細則があります。ただ例会(昼12時30分・夜間18時50分)や理事会の開催予定(最終例会の後に限らない)、入会金や年会費の金額など、現状にそぐわない内容があるので、現状に即して改めなければなりません。

又、新会員の入会金も5万円から3万円に変更しようということになりましたが、内容的には、今までのロータリーツールとバッジに加え、富士クラブ専用のジャンパーとキャップを贈呈するというのでどうでしょうか。という意見もあります。

その他改善すべき部分は、理事会の中で議論し、決定した内容を改めて伝達させて頂きたいと思います。

最終的な決定については、会員の意見を参考にしながら、理事会を経て統一させていただきます。

幹事報告

石 井 誠

- ・第2590回の幹事報告をします。
- ・本日は妙善寺の長島ご住職様から卓話を頂きます。良い話を頂けると思います。
- ・10月20日はエンドポリオ街頭募金活動を行います。富士駅北口で16時から行います。
- ・前回京都洛南RCの海外奉仕の件についてご意見が無いようですので理事会にて最終回答を洛南RCにします。

親睦委員会

岸 本 泰 次

会員誕生日 佐 藤 昌 久 S43.10.2
 結婚記念日 瀧 真 砂 人 S62.9.26
 創立記念日 岸 本 泰 次 S60.10.1



お誕生日
おめでとう
ございます

☆私のスマイル

小出隆久君 妙善寺住職の長島さん、本日の卓話よろしくお願いいたします。

出席報告

岸 本 泰 次

2590回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	6名	26名	81.2%

2588回 9/13確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	5名	27名	84.3%



例会プログラム予告

10月11日 卓話

10月25日 卓話

第4回(2017年10月度)理事会報告

日時 平成29年9月27日(水) 13:30～

1.報告事項

- ①観月会について：会員有志による演奏をして頂いた。総勢46名の参加でした。(岸本委員長)
- ②ポリオ募金について：10月20日の時にポケットティッシュ配布する際にチラシデザインの決定。
- ③10月の卓話：4日 瀬尾会員「ポリオについて」、11日 公益社団法人日本国際民間協力会(ニッコー)岡田様「京都洛南RC海外奉仕事業について」、25日 池田会員「知的財産権について」

2.協議事項

- ①京都洛南RC海外事業提案について：会員からの意見は無く、理事会一任となりお断りする方向になった。

4.その他

- ①京都洛南RC海外事業提案に参加しない旨を12月に洛南に行く事で決定。
- ②会長から来期に向けて規定と細則改訂をすとの事。整合性を取り、入会しやすい会にしていきたいとの言葉がありました。

卓話



妙善寺住職 長島氏

柔軟心 ～しなやかな心～

1.本当の自分

剣道・書道・禅の達人、山岡鉄舟居士に「晴れてよし曇りてもよし富士の山 もとの姿はかわらざりけり」という歌があります。わたしたちの「もとの姿」は「仏心(仏性)＝仏さまと同じすばらしい知恵と慈悲働きが具わっている」であるのに、富士山が見え隠れするのと同様に、私たちの仏心も見え隠れします。智慧が隠れてしまうと、「我(が)」が強くなりすぎて自分本意な物の見方しかできなくなります。慈悲が隠れてしまうと、優しさ思いやりが失われ、自分さえよければ人はどうなってもいい、とおぞましい考えに支配されてしまいます。

2.いつでも どこでも 誰でもできる「坐禅」

本当の自分(仏心/仏性)を隠してしまう雲を、仏教では煩惱(妄想・執着…)と呼びます。その迷いの雲を吹き飛ばす方法の一つが坐禅です。坐禅のポイントは三つ。「調身・調息・調心」です。いい姿勢で(調身)、正しい呼吸を心がければ(調息)、心は調ってきます(調心)。これだけ押さえておけば、正式な坐禅に近い「心の落ち着き」が得られます。坐禅は、長い時間、痛く辛い思いを耐える我慢比べではありません。立禅・歩行禅・仰臥禅など、動きの中でもできます。台所禅・オフィス禅・ひと息禅…など、時間にも場所にも制約はありません。要は、せつかくの自分のいのちを、よりよい状態で活かして使うために、「心を調える」意思があるかどうかなのです。

3.柔軟心(にゅうなんしん)

「駿河には 過ぎたるものがふたつあり 富士のお山と 原の白隠」と讃えられる白隠禅師は富士市とも関わりの深い名僧ですが、禅師の作られた『坐禅和讃』に、『衆生本来佛なり 水と氷の如くにて…』とあります。水と氷は本来同じものですが、その在り方は随分違います。水はどんな器にも納まりますが、氷はそうはいきません。氷が動こうとすれば周りを傷つけますが、水は周りにあるものをさけながら、さらさらと流れていきます。「我(が)」が強いときの私たち凡夫は氷のように周りの人を傷つけますが、選り好みや不平不満を離れた仏さまのような心の状態の時には、水のように周囲の人の心を潤していくのです。「かたよらない こだわらない とらわれない 柔軟な心」を本来私たちは持っています。修行して手に入れる必要はないのです。ただ、持っていることを忘れていただけなのです。ぜひ、その心に目覚め、その心の具わったいのちを活かしていきましょう。

「花も美しい 月も美しい それに気づく心が美しい」

